

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～ 埋立部の舗装工事の着手 ～

■ ト ピ ッ ク ス ■

国土交通省は、我が国空港ネットワークの拠点空港として極めて重要な位置を占める東京国際空港（羽田空港）において、新たに4本目の滑走路となる『D滑走路建設工事』について、平成22年10月末の滑走路の供用開始を目指し、24時間365日の昼夜連続施工により最速で工事を進めています。

このうち、埋立部では、平成22年2月8日より、舗装工（路盤工事）の施工を開始しています。

舗装工については、既に棧橋部においてアスファルト舗装の施工が始まっており、埋立部については、揚土工のうち、路床の完了後に着手となるため、路床が概成する2月上旬となりました。

今回、施工を開始した舗装箇所は、滑走路中央帯の下層路盤で、施設によって舗装構成は異なりますが、上から表層（密粒度アスファルト改質Ⅱ型^(注1) 5cm）、基層（大粒径アスファルト^(注2) 12cm）、上層路盤（アスファルト安定処理^(注3) 15cm）、下層路盤（クラッシャーラン^(注4) 109cm）となっています。舗装厚は、路床を含めると最大で約3.4m程あり、滑走路の他、誘導路、場周・保安・点検道路の舗装を行います。また、これらの合計面積は、約33万㎡と東京ドームにして約7個分に相当する広さとなり、これらを短期間で施工することとなります。

舗装完了は本年8月中旬を予定しており、供用開始へ向けたラストスパートをかけていきます。

(注1)密粒度アスファルト改質Ⅱ型：耐流動性・耐摩耗性に優れたアスファルト。

(注2)大粒径アスファルト：骨材の最大粒径が大きいアスファルト混合物。

(注3)アスファルト安定処理：骨材にアスファルト乳剤を混合処理したもの。路盤の支持力を増大させるための処理。

(注4)クラッシャーラン：最大粒径40mmの砕石。(D滑走路では、主に静岡県宇久須産、三重県国見山産・菅島産を使用)

平成22年 3月4日（木）

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

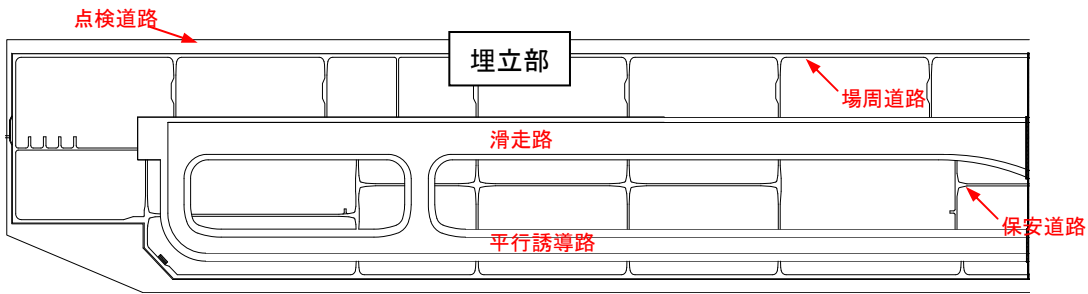
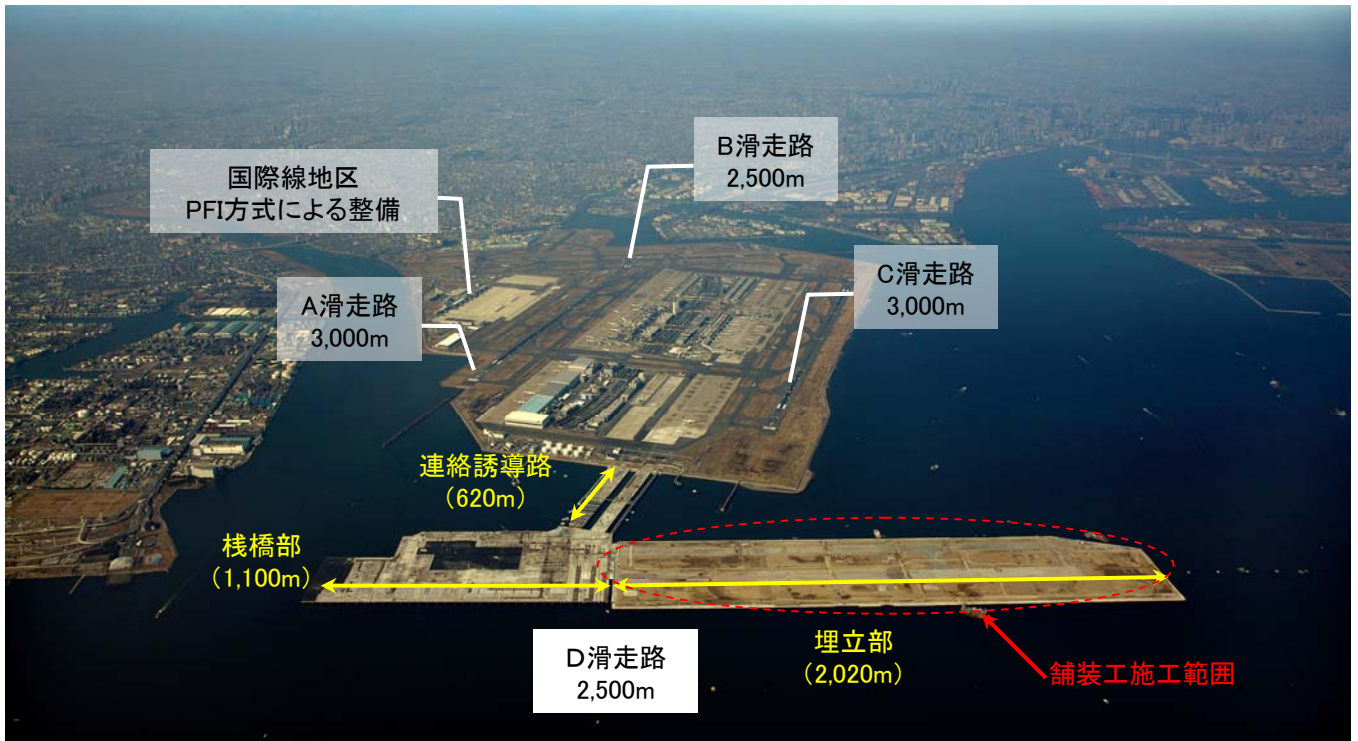
先任建設管理官 小林 雅幸・係長 原田 勉、貴船 哲央・満山 堅太郎

住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5階

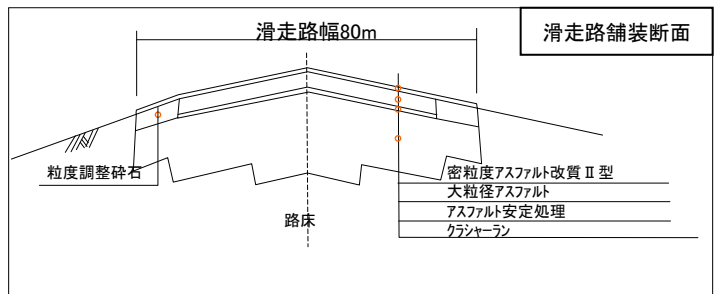
電話 03-5756-6577

HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

D滑走路全体航空写真(平成22年2月20日撮影)



一層路盤材—
クラッシャーラン40
(平成22年2月8
日撮影)



施工状況①(平成22年2月8日撮影)



施工状況②(平成22年2月8日撮影)

